

取扱説明書

スマートライドダッシュボード SRD5 Pro (5inch)



内容は、製品の仕様変更などで
予告なく変更される場合があります。

 Custom Japan

付属品の確認

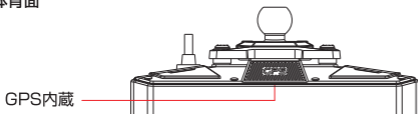
本機には以下の付属品があります。
お使いになる前に、以下のものが全て揃っているか確認してください。
万一、不足しているものや破損しているものがある場合は、
お買い上げ店にご連絡ください。

 本体×1	 本体プラケット×1	 電源ケーブル×1
 フロントカメラ×1	 リアカメラ×1	 プラスドライバー×1
 トルクスレンチセット	 球形スタンド×1	 結束バンド×1セット
 取付用スペーサーセット	 クイックガイド×1	
 タイヤ空気圧センサーセット		

各部名称

■ 本体

● 本体背面

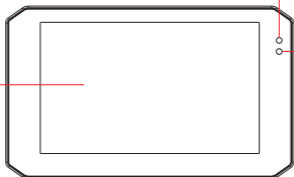


● 本体正面

LEDランプ (赤点灯は録画中であることを意味します)

5インチ
IPSタッチパネル

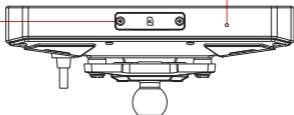
光感知センサー



● 本体底部

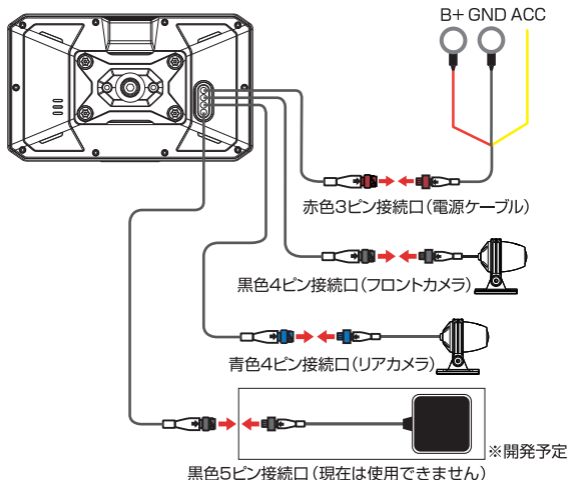
マイク

SDカードスロット



各部の名称

■ 接続コネクタ



商品の取り付け

■ 電源ケーブルの取り付け

• 電源ケーブル (長さ: 約 2m)

- ①BAT 端子 (赤): バイクバッテリーの正極 (⊕) 側に接続してください。
- ②GND 端子 (黒): バイクバッテリーの負極 (⊖) 側に接続してください。
- ③ACC 端子 (黄): バイクの ACC 電源に接続してください。「車両のイグニッションキーが ON の時に 12V、OFF の時に 0V となる線に接続してください。」

商品の取り付け

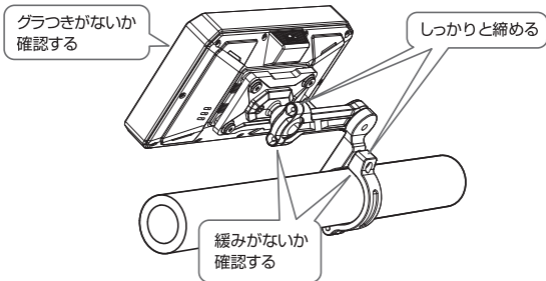
■ 取り付けレイアウト（例）



⚠ カメラはタイヤが巻き上げた砂や石が当たりにくい場所に取り付けてください。

■ 本体の取り付け

車両メーカーや車種によって、それぞれ取り付け方法が異なります。商品の不具合や取り付けには危険が伴いますので、必ず専門知識を有する取り付け業者が行ってください。可変部分は定期的にし締めしてください。



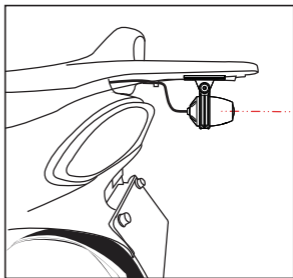
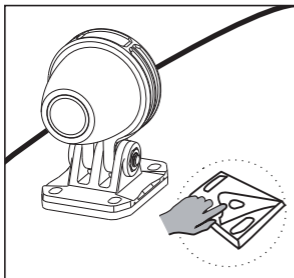
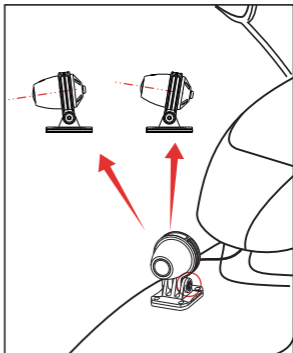
商品の取り付け

■ 前後カメラの取り付け

- ①運転操作に支障がなく、車両の走行振動や揺れの影響が少ない場所に取り付けてください。
- ②カメラステーの固定ねじを緩めて、取り付ける場所に合わせてカメラの角度（上下）を調整します。
- ③決めた取り付け位置の汚れをウエスなどでよくふき取った後に、市販のアルコールクリーナーで脱脂してください。
- ④カメラステーに貼り付けられている両面テープの保護シートをはがし、取り付け位置に押し付けて固定します。

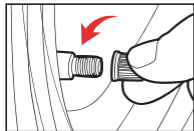
※装着の強度を確保するため、接着面に隙間がないことを確認してください。

※接着後、24時間はカメラステーに負荷を掛けないでください。

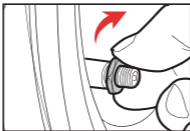


商品の取り付け

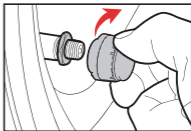
■ タイヤ空気圧センサーの取り付け



①タイヤのバルブキャップを取り外します。

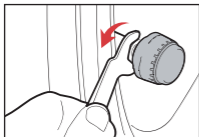


②付属のナットを時計方向に回し、バルブの奥まで締め込んでください。

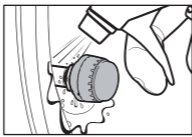


③タイヤ空気圧センサーを時計方向に回し、しっかりと締め付けます。

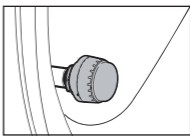
(タイヤ内の空気が漏れないように、素早く締め付けてください)



⑤付属の専用レンチを使用して、ナットを反時計方向に回して締め付けます。



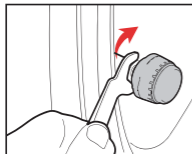
⑥バルブとタイヤ空気圧センサーの付近に石鹼水などをかけて、空気漏れがないかを確認してください。



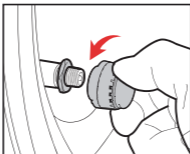
⑦空気漏れがなければ、タイヤ空気圧センサーの取り付けが完了です。タイヤ空気圧監視機能 (TPMS 機能) を使用するには、初めに本体とペアリングする必要があります。

商品の取り付け

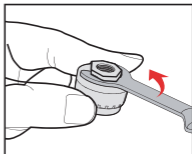
■ タイヤ空気圧センサーの電池を交換する



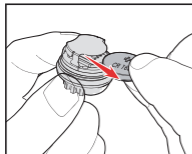
①付属の専用レンチを使って、ナットを時計方向に回して緩めます。



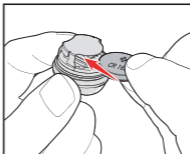
②タイヤ空気圧センサーを反時計方向に回して取り外します。



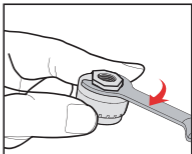
③付属の専用レンチを使って、センサーキャップを反時計方向に回して取り外します。



④付属の電池 (CR1632) を取り出します。



⑤新しい電池 (CR1632) に交換します。
※⊕(プラス) 面を上にして奥まで差し込みます。



⑥付属の専用レンチを使って、センサーキャップを時計方向に回し、しっかりと締め付けます。





タイヤ空気圧センサーを装着する時は、バルブに水分が付着した状態で装着しないでください。タイヤ空気圧センサーが故障する原因になります。装着部をしっかりと乾燥させてから、取り付けてください。

本体表示画面の説明

1. 輝度調整ショートカット画面

画面の上部で上から下にスワイプすると、輝度を調整するためのショートカット画面が表示されます。

 このアイコンのときは、輝度バーを左右にスライドさせることで、画面の明るさを手動で調整できます。

 このアイコンのときは、画面の明るさが自動で調整されます。本体には自動感光センサーが内蔵されており、手動で輝度を調整する必要はありません。また、輝度バーをスライドすることはできません。



2. ホーム画面のアイコンの説明



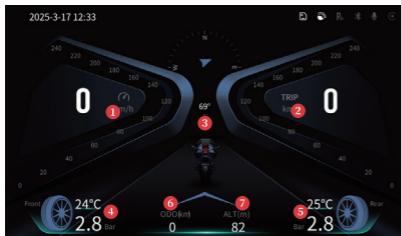
画面をタッチすると、ナビゲーションバー【】が表示されます。

- ① 走行データ：タッチすると走行データ画面表示になります。
- ② ワイヤレス接続：タッチするとCarPlay/Android Autoワイヤレス接続画面表示になります。
- ③ 録画：タッチするとドラレコ録画画面表示になります。
- ④ 設定：タッチすると設定画面表示になります。

本体表示画面の説明

3. 走行データ (GPS 機能)

画面左側の [📍] をタッチすると、走行速度、走行距離、タイヤ空気圧データなどの走行データが表示されます。




- ① 走行速度
- ② 走行距離 (1回の走行距離、次回バイクの電源を入れると自動でデータが消去されます。)
- ③ コンパス角度
- ④ 前輪タイヤの空気圧と温度
- ⑤ 後輪タイヤの空気圧と温度
- ⑥ 総走行距離
- ⑦ 現在の標高

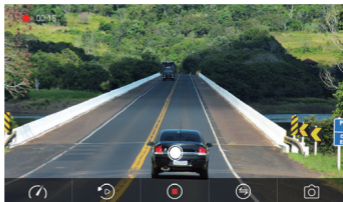


タイヤの空気圧と温度が設定値より低いか高い場合、本体ホーム画面のタイヤアイコンが赤色になります。






本体表示画面の説明

4. 録画表示画面

- ホーム画面に録画画面は直接表示されません。左側のナビゲーションバーの録画アイコン【】をタッチすると録画画面が表示されます。
- メモ리카ードをカードスロットに挿入し、正しく認識されると、ドライブレコーダーは自動で録画を開始します。
- 録画画面上で左右にスワイプすると、フロントカメラとリアカメラの録画画面が切り替わります。
- 録画画面で画面をタッチすると、下のタスクバーが表示されます。画面を素早く2回タッチすると録画中のビデオがロックされます。ビデオがロックされた場合は画面左上隅にある録画アイコンが黄色の点に変わり点滅します。



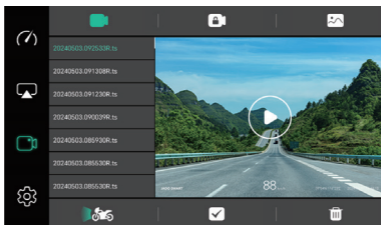
■ アイコンの説明

アイコン	説明
	走行データアイコン。タッチすると走行データ画面へ移動します。
	再生アイコン。タッチすると録画再生画面が表示されます。
	録画アイコン。録画中であることを示します。デフォルトではオンになっており、もう一度タッチすると録画が終了します。
	切り替えアイコン。タッチするとフロントカメラとリアカメラの映像が切り替わります。
	撮影アイコン。タッチすると写真を撮影します。









本体表示画面の説明

5. 録画再生画面

- 録画画面の再生アイコンをタッチすると再生画面が表示されます。
- この画面では、ループ録画ファイル、ロックされた録画ファイルと写真が確認できます。



■ アイコンの説明

アイコン	説明
	ループ録画ファイル
	ロックされた録画ファイル
	写真
	タッチするとフロントカメラとリアカメラの録画ファイルが切り替わります。  フロントカメラの録画ファイルと写真を表示  リアカメラの録画ファイルと写真を表示
	ファイルリストから 1 つまたは全てのファイルを選択できます。
	タッチすると選択した録画ファイルまたは写真を削除します。

CarPlay&Android Auto

■ iPhone とのペアリング

iPhone と本機を無線接続することで、CarPlay をご利用いただけます。

※CarPlay をサポートする機種および対応アプリケーション、接続方法、使用方法につきましては、Apple 公式ホームページで詳細をご確認ください。

<https://www.apple.com/jp/ios/carplay/>

※スマートフォンやアプリケーションの仕様によって、本機の画面に表示できない場合があります。

•初期設定の流れ

① CarPlay 接続画面の指示に従って操作してください。

② iPhone と本機を Bluetooth で接続します。

iPhone の Bluetooth を有効にし、本機のデバイス名「SRD5Pro_*****」に接続します。

③ iPhone の画面に表示される「CarPlay を使う」をタッチすると、ペアリングが完了します。

※次回起動時は自動で接続されます。

※お使いの機種によって、iPhone の設定画面は異なります。

■ Android とのペアリング

※Android Auto をサポートする機種および対応アプリケーション、接続方法、使用方法につきましては、Android 公式ホームページで詳細をご確認ください。

<https://www.android.com/auto/>

<https://support.google.com/androidauto>

※スマートフォンやアプリケーションの仕様によって、本機の画面に表示できない場合があります。

•初期設定の流れ

① Android Auto 接続画面の指示に従って操作してください。

② Android スマートフォンと本機を Bluetooth で接続します。

Android スマートフォンの Bluetooth を有効にし、本機のデバイス名「SRD5Pro_*****」に接続します。

③ Android Auto が起動します。ペアリングが完了します。

※次回起動時は自動で接続されます。

※お使いの機種によって、スマートフォンの設定画面は異なります。

CarPlay&Android Auto

【ご注意】

本製品は、スマートフォンとの通信に 5GHz を使用します。

モニター起動後から約 1 分間、電波の干渉確認を行います。

※その間は CarPlay / Android Auto は接続されません。

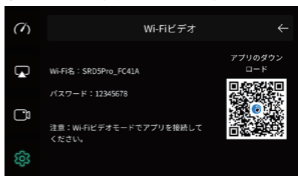
本製品起動から、ペアリング完了後にも、Wi-Fiの電波干渉確認に1分30秒～2分ほどかかります。

確認が終わると CarPlay / Android Auto に自動で接続します。

ワイヤレス接続機能を使う

専用スマートフォンアプリケーション「Viidure」を使用し、スマートフォンと本機を無線 LAN(Wi-Fi) で接続することで、ドラレコの撮影映像表示や記録したファイルの再生・消去を他人と共有することができます。

- 専用スマートフォン録画アプリケーション「Viidure」の入手方法
専用スマートフォンアプリケーション「Viidure」は、AppStore(iOS) または Google Play (Android) の公式アプリケーションストアの検索画面に「Viidure」と入力し、検索してインストールすることができます。設定機能に入ってから「Wi-Fi ビデオ」をタッチしてください。Wi-Fi ビデオの画面になりましたら、QR コードをスキャンしてアプリケーションをダウンロードしてください。
- ※ アプリケーションが正常にダウンロードできてもお客様の端末機器の状態や通信の状況等によっては、ご利用いただけない場合がございます。
- ※ スマートフォンの 4G/5G 回線を利用してアプリケーションをダウンロードしたり、動画や静止画を転送したりする場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。
- 専用スマートフォン録画アプリケーション「Viidure」の主な機能
 - ・ スマートフォンで録画を表示する
 - ・ 録画・静止画ファイルの再生
 - ・ 録画・静止画ファイルの管理（個別・複数のファイルを削除／ダウンロード／共有する）
- アプリケーション開始までの流れ（スマートフォンを本機の Wi-Fi に接続する）
 - ① ワイヤレス接続機能を使うためには、「設定」で「Wi-Fi ビデオ」の画面にしてください。それから、QR コードをスキャンしてアプリケーションをダウンロードしてください。
 - ② スマートフォンの「Wi-Fi 機能」を ON にします。
 - ③ スマートフォンの Wi-Fi 設定の接続先一覧から、本機の Wi-Fi 名「SRD5Pro_****」を選択し、パスワード「12345678」を入力して接続します。
 - ④ スマートフォンで「Viidure」アプリケーションを起動します。
 - ⑤ Viidure の画面で「ドラレコを接続」をタッチすると、録画画面が表示されます。



TPMS機能&空気圧センサーのペアリング

■ TPMS 機能について

TPMS (Tire Pressure Monitoring System) 機能は、タイヤの空気圧と温度をセンサーキャップで測定し、無線で本機に情報を送信して、リアルタイムで空気圧、温度を確認できるシステムです。

■ 表示画面の説明

各 TPMS センサーの信号を受信してから、タイヤ空気圧とタイヤ温度がメーター画面の左下側と右下側に表示されます。

空気圧の数値が正常範囲内の時は白色、異常がある時は赤色で表示されます。

※単位は、タイヤ空気圧は bar または psi、タイヤ温度は°Cまたは°Fで表示します。



異常あり

TPMS機能&空気圧センサーのペアリング

■TPMS 機能を設定する

本機の「設定画面」から、TPMS アイコンをタッチして、「ペアリング」をタッチしてください。

空気圧の
正常範囲/
数値表示
の単位を
設定する。



ペアリング

●使用空気圧値の設定

タイヤホイールのマッチングに合わせて、通常使用する空気圧の値を設定します。設定値は 1.6bar から 3.2bar となります。

ペアリング手順：

1. 「ペアリング」画面で、初めに前輪の空気圧センサーとのペアリングを行ってください。
次に、空気圧センサーを前輪に取り付けてください。操作手順を間違えないようにしてください。
 2. 後輪の空気圧センサーとのペアリングを行ってください。次に、空気圧センサーを後輪に取り付けてください。操作手順を間違えないようにしてください。
 3. ペアリング中、センサーに接続できない場合は、一度取り外してから、再度取り付けて、もう一度ペアリング操作を行ってください
- ※ 通常ペアリングは数秒間から 1 分間程度です。

ご注意：空気圧センサーの取り付け、ペアリング、設定などは 5 分以内に操作してください。5 分以内にペアリングを完了できなかった場合は、ペアリング設定は解除されます。もう一度、初めからペアリング操作を行ってください。

本体設定

設定ボタンをタッチすると、本機の設定画面が表示されます。



「ドラレコ」部分には以下の6項目が含まれます。

- 録音：録画時の音声記録機能のオン／オフを設定できます。
- 録画時間：録画ファイルの1ファイルあたりの録画時間を設定できます。「1分」を選択することをお勧めします。
- リアカメラミラーリング：リアカメラの映像を左右反転できる機能です。オン／オフを選択できます。
- 駐車監視：この機能をオンにしてから、駐車中に衝撃を感知した場合、ドラレコは自動的に約30秒の動画を録画し、ロックされたファイルに保存されます。バイクのバッテリー上がりを防ぐために、付属の電源ケーブルには低電圧保護機能が付いています。電圧が11.8V以下になると駐車監視機能は停止します。駐車監視の感度は高・中・低から選択できます。お好みに応じて調整してください。
- Wi-Fiビデオ：スマートフォンを使用して本体画面上のQRコードをスキャンし、アプリケーションをダウンロードしてインストールしてください。本機のWi-Fiに接続した後、スマートフォンのアプリケーションを使用して録画または再生できます。具体的な使用方法については14ページをご覧ください。
- ストレージ情報：SDカードの使用済と総容量が表示されます。下の「フォーマット」をタッチすると、本機のSDカードがフォーマットされます。フォーマット後、全ての録画および写真ファイルは削除されます。SDカードをフォーマットすると、記録したデータは全て消去されます。フォーマットする前に必要なデータをPCなどに保存してください。初めて使用する時はSDカードはフォーマットしてください。定期的にSDカードをフォーマットしてください。録画エラーの発生を防ぎます。またSDカードの寿命を延ばすことができます。

本体設定

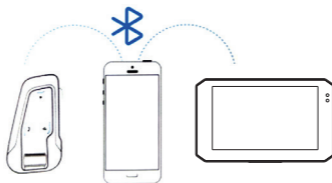
- 「機能」部分には以下の4項目が含まれます。



- TPMS：本機能を使用するにはタイヤ空気圧センサーが必要です。ペアリングが成功すると、本体画面に現在のタイヤ空気圧と温度が表示されます。
- GPS：本製品には GPS 機能が搭載されてます。付属の GPS アンテナに接続している場合、衛星信号を受信してから現在の位置、速度、時刻などの情報を表示できます。
 - GPS 情報：GPS 衛星の数や緯度経度などの情報が表示されます。
 - 速度単位：km/h または mph を選択できます。
 - GPS で時刻を自動調整：この設定をオンにし、GPS 測位が成功すると、本体が自動で時刻と日付を補正します。
 - 日付／時間設定：日付と時間を手動で設定できます。
 - 24 時制：この機能がオンの場合、時間形式は 0:00～24:00 で表示されます。この機能がオフの場合、時間形式は AM0:00～12:00 または PM0:00～12:00 で表示されます。
 - 時間形式：年／月／日または日／月／年を設定できます。
 - タイムゾーン：現地のタイムゾーンに合わせて設定できます。(日本のタイムゾーン UTC +09:00)

本体設定

- BCM：現在この機能はご使用いただけません。（※開発予定です。）
- Bluetooth：CarPlayとAndroid Autoの接続後にスマートフォンのBluetooth接続が自動的にリリースされます。スマートフォンとインカムやワイヤレスイヤホンなどにペアリングすることで、CarPlayとAndroid Autoの音声をインカムやワイヤレスイヤホンなどで聞くことができます。※インカムへは直接繋ぐことはできません。スマートフォンを経由してください。



本体設定



■ 画面設定：画面の表示や明るさなどを調整できます。

- **メーター**：お好みに応じてホーム画面の表示を設定できます。
- **スクリーンセーバー**：この設定をオフにすると、画面は常時点灯になります。30秒 / 1分 / 3分に設定すると、30秒 / 1分 / 3分以内に操作がない場合、画面がオフになります。画面がオフになりますが、本体は正常に動作します。
- **自動ロック**：この設定をオンにすると、雨滴による誤動作防止のため、画面がロックされます。設定時間が過ぎると「スワイプしてロック解除」のアイコンが画面の下部に表示され、上方向へスワイプして解除しないと操作ができません。
- **自動明るさ調整**：この設定をオンにすると、本体は周囲の明るさに応じて画面の明るさが自動で調整されるので、輝度バーは操作できなくなります。この設定をオフにすると、輝度バーを左右にスライド操作ができるようになります。画面の明るさを手動で調整できます。

※スクリーンセーバーと自動ロックは出荷時は「オフ」になっています。

■ 言語：本機の表示言語を選択できます。（日本語、英語のみ）

■ 操作音：画面をタッチしたときの音をオンまたはオフに設定できます。

■ ショートカット：CarPlay/Android Auto に接続した後、画面の右側にある白いショートカットを表示または非表示に設定できます。「ショートカット」をタッチすると、CarPlay/Android Auto から走行データ、設定画面、録画画面、明るさ調整画面に素早く切り替えることができます。

本体設定

- 接続設定リセット：スマートフォンの Wi-Fi、Bluetooth、ワイヤレス接続情報をリセットできます。本製品は同時に 2 台のスマートフォンに接続できないため、複数のスマートフォンを使用する場合は、別のスマートフォンを接続する前に、接続情報をリセットしてください。
- リセット：工場出荷時の設定に戻します。タッチすると、本体が自動的に再起動し、全ての設定を工場出荷時のデフォルト設定に戻ります。
- バージョン：ファームウェア情報を確認できます。

製品仕様

品名	スマートライドダッシュボード SRD5 Pro (5inch)
ディスプレイ	5インチ
Wi-Fi規格	5Ghz (W56 DFS機能搭載)
ワイヤレス接続	CarPlay/Android Auto/Wi-Fi APPをサポート
液晶仕様	IPSタッチパネル/輝度：1,000Nit
搭載センサー	GPSセンサー/Gセンサー
駐車監視	対応
光センサーチップ	自動光センサーを内蔵 / 5段階の明るさ調整
ビデオフォーマット	TS
写真フォーマット	JPEG
ビデオエンコード形式	H.265/H.264
防水仕様	IP67
録画	前後カメラ録画対応
動作温度	-20℃～-70℃
保存温度	-20℃～-70℃
APP	映像プレビュー、前後カメラ切り替え、ビデオ再生、ダウンロードなど

よくあるトラブルシューティング

番号	トラブル	解決方法
1	起動できない	<ol style="list-style-type: none">1. 電源ケーブルの PIN 接続口が正しく挿入されているか、ナットが締められているかを確認してください。2. B+, ACC、GND の 3 本の線が正しく接続されているか、断線していないか、接触不良がないかを確認してください。
2	タッチできない	<ol style="list-style-type: none">1. デバイスの電源が入ってからタッチできない場合は、スタートアッププログラムの実行が完了するまで待ってから、画面をタッチしてください。2. 画面の損傷を避けるため、鋭利な物体で画面に触れないでください。3. スマートフォンのアプリケーション録画モードではスマートフォンが本製品に正常に接続された後、本体はビデオ録画画面が表示されます。この状態では、本体でいかなる操作も実行できません。スマートフォンのアプリケーションで録画したビデオを視聴したり、ダウンロードしたり、写真を撮ったり、本体のさまざまなパラメータを設定できます。4. スマートフォンのアプリケーション録画モードの切断時に遅延が発生する可能性があります。この時、本体の操作を実行できなくなるため 1 ~ 2 分待ってから本体を操作してください。
3	前後カメラが表示されない	<ol style="list-style-type: none">1. カメラとケーブルが純正かつ標準であるかどうかを確認してください。(純正以外のアクセサリはサポートされていません)2. 電源ケーブルがバッテリーに正しく接続されているかを確認してください。3. 各ケーブルとアクセサリが正しく接続されているかを確認してください。必ず同色のコネクタに配線に接続してください。4. オスのピンに歪みや破損がないかを確認してください。
4	CarPlayに接続できない	<ol style="list-style-type: none">1. 初回接続には時間がかかります (約 1 ~ 3 分)。2. CarPlay 機能を使用できるのは iPhone のスマートフォンのみです。3. スマートフォンのモデルは iPhone8 以降、システムのバージョンは iOS 13 以降が必要です。4. スマートフォンの Bluetooth 機能が正常であるかどうか、およびそれらがオンになっているかどうか確認してください。5. 本体の設定で「接続履歴をクリア」をタッチして接続履歴を消去してください。次に、スマートフォンの Bluetooth をオフにしてください。次に、もう一度接続手順に従って CarPlay を接続してください。6. スマートフォンとデバイスを再起動してから再接続してください。

よくあるトラブルシューティング

番号	トラブル	解決方法
5	Android Autoに接続できない	<ol style="list-style-type: none">1. 初回接続には時間がかかります（約 1 ～ 3 分）。2. Android Auto 機能を使用できるのは Android スマートフォンのみです。バージョンの要件は Android 11 以降が必要です。3. スマートフォンの Android Auto および関連アプリケーションを最新のバージョンに更新してください。4. スマートフォンで VPN を有効にしないでください。5. スマートフォンの Bluetooth 機能が正常でオンになっているか確認してください。6. スマートフォンとデバイスを再起動してから、再接続してください。
6	録画アプリケーションに接続できない	<ol style="list-style-type: none">1. スマートフォンの関連アプリケーションを最新のバージョンに更新してください。2. 本体に SD カードが挿入され、正常に認識されているかどうかを確認してください。3. Wi-Fi 接続時、本体表示画面が録画アプリケーション接続画面に切り替わっているか確認してください。4. 録画アプリケーションと CarPlay/Android Auto 機能を同時に使用することはできません。録画アプリケーションを使用するには、まず CarPlay / Android Auto を切断してください。
7	アフターサービスサポート	上記の一般的なトラブルについては、トラブルシューティングを行ってください。トラブルシューティングしても解決せず、本製品が正常に動作しない場合は、お買い上げ店にお問い合わせください。
8	SD カードについて	ドラレコファイルが大きいいため、UHS-3 以上の SD カードを使用してください。低速の SD カードでは、本機が誤作動する可能性があります。断片化されたファイルが多すぎると、製品の正常な作動に影響を与えますので、定期的に SD カードをフォーマットしてください。新しい SD カードは使用前にフォーマットする必要があります。PC でフォーマットするには、ファイル形式を FAT32 に設定してください。

保証規定

1 <保証期間>

本製品の保証期間は新品購入日から1年間です。

本書の記載内容にしたがった通常のご使用において自然故障した場合は、本保証規定にのっとり保証修理または交換することを保証いたします。

交換となった場合の保証期間は、故障前の製品保証期間に準じます。

※ 交換する場合、元の製品/部品は返却いたしません。また、SDカードに記録されているデータは弊社で消去させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

2 <保証対象>

保証対象は本製品の主要部分(本体、カメラ、電源ケーブル、カメラケーブル)のみとさせていただきます。消耗品(内蔵バッテリー、SDカード、ヒューズ、結束バンド)やSDカードに記録されているデータなどの付加品は保証の対象とはなりません。

3 <適用の除外>

次の場合は、保証期間内であっても、保証の対象とはなりません。

- (1) 故障した本製品の各部品をご提出いただけない場合。
- (2) ●オンラインでのご購入は商品の注文番号や納品書(再販商品は対象外です)。
●店舗でのご購入はレシートや領収書などの明細書。
上記、購入証明となるものをご提示いただけない場合。
- (3) 道路交通法で定められる走行でご使用いただけない場合。
- (4) お買い上げ後の輸送、移動時の落下や衝撃による故障/損傷。
- (5) 取り付けの不備や電源の逆接続、使用上の誤り(本書の記載内容に反する取り扱い、誤操作など)による故障/損傷。
- (6) 保管上の不備や手入れの不備による故障/損傷。
- (7) 分解、改造、不当な修理、機器に変更を加えたことによる故障/損傷。
- (8) 本製品の各部品への内部浸水/結露による故障。
- (9) 通常使用の範囲を超える温度、湿度、振動、衝撃、異常電圧による故障/損傷。
- (10) 地震、火災、落雷、風水害、その他の天変地異や公害など外的要因による故障/損傷。
- (11) 他の機器に起因する本製品の故障/損傷。
- (12) 消耗品(内蔵バッテリー、SDカード、ヒューズ、結束バンド)やSDカードに記録されているデータなどの付加品。
- (13) 本製品のソフトウェア(アプリやPCソフト、ファームウェア)のインストール、アップデート作業により発生した故障や障害。
- (14) 個人売買や中古譲渡など、保証修理や交換が認められない事由が判明した場合。
- (15) 日本国外での使用。

4 <免責>

- (1) 本製品の故障による代替機器の貸出しは一切行っておりません。
- (2) 本製品の使用/故障によって弊社が負う責任は、いかなる場合でも本製品の購入代金を限度とします。製品の修理/交換にかかる付帯費用(送料、工賃、人件費など)や、使用/故障によって生じた直接的/間接的/精神的な損害、逸失、利益の補償などにつきましては、弊社は一切の費用負担を行いません。
- (3) 本製品で録画した映像は、事故発生時の参考資料として提出することはできますが、決定的な証拠としての効力を保証するものではありません。
- (4) SDカードに記録されているデータについての補償や失われたデータについての補償、データ消失/破損に付随して発生した損害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねます。

5 <その他>

- (1) 本保証は日本国内においてのみ有効です。
- (2) 本保証規定は、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- (3) 保証期間を過ぎた場合や本保証規定の<適用の除外>に該当する場合の修理または交換は、有償となります。あらかじめご了承ください。
- (4) 本製品の各部品は、予告なく外観/仕様を変更する場合があります。修理または交換の際、元の製品/部品と違いが生じる場合がありますが、品質/機能に影響がないものについてはご了承ください。
- (5) 本製品は使用電子部品の製造中止などにより、予告なく修理受付終了となる場合があります。あらかじめご了承ください。
- (6) 購入証明となるレシート、納品書などを、本体と一緒に保管をお願いします。